

## 第3回 安中市庁舎に関わる市民懇談会会議録

開催日時	令和2（2020）年8月25日（火）午後6時29分から午後8時30分まで
開催場所	安中市役所本庁舎3階 第305会議室（安中市安中一丁目23番13号）
出席委員 （敬称略）	小竹裕人（会長）、小川博（副会長）、吉田茂、河井香織、小林和樹、高橋正章、前島正樹（代理：佐藤俊樹）、佐俣利幸、三好建正、竹内佳重、半田樹衣、藪ほの郁、久米史可、三辻茂、石井清和、北野敦則、大石祐子（計17人）
欠席委員 （敬称略）	恩幣宏美（計1人）
事務局等	阿部総務部長、地域力創造アドバイザー大山氏 〔企画課〕 田中課長、大野係長、金田主任 〔建築住宅課〕 櫻井課長、田嶋係長
議事次第	会長あいさつ、前回欠席委員の自己紹介を行ったのち、2件の議事を議題とした。(1)は「庁舎に関わる現状把握（続2）」について事務局説明、前回配布した各種事例からの視座の資料訂正と補足を大山アドバイザーが行ったのち、質疑応答を行い、(2)は「市役所庁舎の機能に何を求めるか」をテーマに委員間で意見交換を行った（途中休憩あり）。 なお、会議の冒頭に第1回の会議で配布した資料6「庁舎建替に関する報告書」はあくまでも参考資料であるため、委員には庁舎の候補地を含めて自由に意見交換いただきたい旨、改めて事務局より説明した。
傍聴者	16人
公開日	令和2（2020）年9月3日（木）

●会議内容は次のとおりです。

### 1 開会（午後6時29分開会）

### 2 会長あいさつ 会長 小竹 裕人

〈あいさつ要旨〉

こんばんは。先週参加した会議においてコロナウイルスの感染者がいらっしゃったのが昨日判明し、保健所の話では距離も離れていたし、感染対策もしっかりしていたので大丈夫とのことだったが、職場から今日の14時に、今日から土曜日まで自宅待機の指令があったので、遠隔で参加させていただいている。大変やりづらく申し訳ございませんが、よろしく願いいたします。

(委員紹介 竹内委員より自己紹介)

[事務連絡]

事務局：本日は意見出しが主なテーマになってくるが、以前にもお伝えさせていただいたが、平成29年の資料は、あくまでも参考資料であるので、ご意見をいただく際は、場所を含めて、平成29年の資料にとらわれずに、自由にご発言をいただければと考えておるので、よろしくお願い申し上げます。

### 3 議事 [議長：会長]

会長：議事に入る前に本懇談会は出席している委員から意見を聴取するという形ですすめているが、私も含めて複数の委員に、委員外の方から色々なアプローチがあるようであるが、今後は自重していただければと思う。私たちは政治家でもなんでもなく、今回たまたま集まって情報を聞いて、自分なりの意見をまとめて声を出すという役割を担っている。そこに外部の方からのアプローチがあると懇談会の枠組みがなくなってしまうので、是非ともご遠慮いただければと思う。よろしくお願いいたします。

#### (1) 庁舎に関わる現状把握 (続2)

[事務局より説明]

〈説明要旨〉

- ・前回ご質問いただき宿題となった部分と、引き続きご議論をいただくに当たっての補足説明を資料「庁舎に関わる現状把握 (続2)」の内容のとおり、人口規模に対する適切な職員数、合併特例債を借りの場合の将来負担額、プレハブ仮設庁舎のリース費用、公民館の耐震性能と光回線の配備状況、西毛広域幹線道路の計画交通量、現在地周辺の用途地域図の6つの項目に分けて説明した。
- ・2枚目のスライドでは、人口規模に対する適切な職員数を考えるに当たり目安となる類似団体の説明と安中市が属するグループについて資料のとおり説明した。
- ・3枚目のスライドでは2019年度における類似団体と安中市との比較について、市民1万人当たりの対象職員数が安中市は71.90人、類似団体平均は73.93人であり、安中市の方が若干少ないといえること、同じ類似団体に属する県内5市のなかでは安中市は真ん中(3番目)に位置している旨を説明した。
- ・4枚目のスライドでは単純に安中市の市民1万人当たりの対象職員数を基に人口規模に応じた推計をすると人口5万人に対する対象職員数は360人、4万人に対しては288人、3万人に対しては216人となる。ただし、資料のとおり増加要因や減少要因資料その他の要因も将来の適切な職員数に大きく影響するが、把握しきれない旨を説明した。
- ・5枚目、6枚目のスライドでは庁舎整備財源は主に基金、起債と市税や地方交付税な

どの一般財源で賄うことが考えられるなかで、そのうちの起債のうちの1つである合併特例債を借りる場合の将来負担額について説明した。30年ローン、利率0.50%で10億円借りた場合の返済額（利子を含む。）は年間約3,600万円、交付税計算額（返済額の70%分の国からのおこづかい）が年間約2,500万円で差し引きした金額が実質負担額となるが、年間約1,100万円である。同様に20億円の場合は返済額が年間約7,200万円、交付税計算額が年間約5,000万円、実質負担額が年間約2,200万円、30億円の場合は返済額が年間約10,800万円、交付税計算額が年間約7,600万円、実質負担額が年間約3,200万円であることを説明した。

- ・7枚目のスライドではプレハブ仮設庁舎のリース費用についてまず他自治体の仮設庁舎リース費用を紹介した。埼玉県蕨市が約3.2億円、埼玉県桶川市は約2.96億円となっているが、地盤の強度や面積、リース期間などによって費用はまちまちであり、現に蕨市は地盤の補強のため杭を多く打っているため、延床面積の大きい桶川市よりもリース費用が高くなっている旨説明。また、一時的に、他の公共施設や民間の空き施設が賃貸借契約で利用できれば、仮設庁舎が不要、または延床面積を小さくできる可能性もある旨説明。
- ・8枚目のスライドでは市内小・中学校の仮設校舎にかかったリース費用と引越費用を記載した。庁舎と校舎で違いがあるためこちらも一概には比較できないが、2回の引越で1000万円弱ほどかかっていたことが読み取れる旨説明した。
- ・9枚目のスライドでは公民館の耐震性能について、14施設あるが、基本的には1981年以降の新耐震基準に基づき建築されているので、耐震性能は問題ないと思われるが、白井地区生涯学習センターは1979年に建築され新耐震基準前の建物のため、耐震診断を実施したところDランクであった旨を説明した。
- ・10枚目のスライドでは公民館の光回線の配備状況について、いずれの施設も光回線に加入済みであるが、住民票の写しの交付などの業務を行うには専用端末の設置等が必要となるため、初期設置費用や維持費がかかる旨説明。なお、住民票の写しなどを取得するというのであれば安中市では未導入であるがコンビニ交付という制度がある旨、またその概要について資料のとおり説明した。
- ・11枚目のスライドでは西毛広域幹線道路の計画交通量について、県のホームページに掲載されている「よくわかる公共事業」の内容を抜粋して紹介した。現在地周辺の2015年現在の自動車の交通量1日当たり5,039台から2030年の自動車の計画交通量は1日当たり8,800台と約1.75倍に増加するという試算がされている旨説明した。
- ・現在地周辺の用途地域図については資料のとおり現在地が第一種住居地域、旧安中高校跡地が第二種住居地域、西毛広域幹線道路予定地が近隣商業地域、国道18号沿いが準工業地域に位置していることを説明した。

[大山アドバイザーより前回配布の各種事例からの視座の訂正・補足]

- ・秋田県能代市の事例資料ではオレンジ色の第一庁舎（既存施設部分）とピンク色の新庁舎（新築部分）の記載について訂正と補足を行った。
- ・新潟県長岡市の事例資料では市の状況の説明の部分が他市の説明になっていたため、差し替えた。

[質疑応答等]

会長：事務局と大山アドバイザーの説明について、ご質問やご意見あればお受けするが、いかがか。

委員：人口規模に対する適切な職員数については、これまでの説明でもあったが人口規模が縮小しているという前提でない範囲内で、安中市の庁舎のことをもっとポジティブに考えて、安中市の人口をこれ以上減らさない、もっと増やすんだという、なかなか難しいがそういう視点で物事を考えて施策を実現してもらえればと思う。西毛広域幹線道路沿いである現在地の交通量が約 1.75 倍増えるというが、現状は大型車両が入れなかったと思うが、富岡と直通になると大型貨物車両による貨物の運搬が主流になる道路となると思う。観光バスや大型貨物車両が約 2 倍に増える、せつかく交通量が増える西毛広域幹線道路沿いにあるのであれば、道路の脇だけにある近隣商業地域を第一種住居地域の方まで拡大する用途地域の変更を必ず行ってもらいたい。今の庁舎の場所がどうなるかは今後課題として出てくるが、旧安中高校跡地であろうと現在地であろうと他のところになろうと、跡地利用を考えたときにおそらく現在の位置ではなかなか対応できない面積数で、これに合わせたものを考えればいいということでもあるが、より一層発展的な意味で考えて是非とも現在地の用途地域の変更を考えてもらいたい。ここは小学校や中学校の通学する拠点でもあり分離式信号などもあるが、交通安全を行政も十分に配慮したなかで対応を考えてもらいたいと思う。

委員：市民懇談会の開催通知文書によると今回は庁舎の機能に何を求めるかの議論に限定した会議にし、自由な発想で発言してもらいたいということで、庁舎の規模や施設計画は多岐にわたるために別途できるであろう委員会に議論を譲りたいということであった。第 1 回懇談会で配布のあった資料 3 の検討フローの資料では庁舎の建設のことを言っていて、資料 4 では今後の方向性となっている。第 4 回目は提言書を取りまとめた案を出して、第 5 回目で市長に出すということで、なかなか日にちもないなかで他のことに触れられないということもわかるが、そういうことを求めているならあえて懇談会でなくてもパブリックコメントとしてホームページや SNS で求めても多岐にわたるコメントが得られたと考えるが、今後パブリックコメントを求める意向は事務局にあるのか。前回まちづくりのことを私から質問して、事務局から説明があったが、次回に送るにしてもその委員会のなかでまちづくりのことに特化

した議論の場を今回の懇談会の意見を取り入れながらぜひ作ってほしいので要望として申し上げます。

会長：この集まりは委員会という堅いものではなくあくまでも懇談会という形をとったもの。議論を伺ってきたなかで、細かいところに入りすぎてしまうと全体像を見失ってしまう会議の流れもあり反省しながら進めてきた。懇談会の設置要綱では細かな市役所の位置をどうするのか、建て替えるのかなど踏み込むとも書いてあるが、踏み込めるか正直わからないところ。議論の整理としてまず全国の事例紹介からもわかると思うが、役所としての機能をどこに重きを置くかを委員の皆様の意見からある程度抽出したいと思っている。そのあとに規模や立地がくっついてくると、取りまとめ役としては判断している。最終的にどこまで意見集約をするかは皆様と今日の話聞きながら決めていくことになる。パブリックコメントだと声の大きい人だけが意見することになるので、この懇談会という場があると理解している。前回、機能を1分間で意見発表としたのはこういう場で意見をいうのがなかなか難しいなかでの予行演習的なもので、今回は大変恐縮だがフォーマットを作らせていただいて議論の方向性をなるべくフォーカス、集中させる形で、機能について議論したいものである。設置要綱からすればもっと細かい部分まで踏み込むべきかとも思うが、たぶん全5回では済まないし、専門的な建設コストの算定は多分我々ではできず、工事業者にきちっと、お金を支払ってやらなくてはいけない。情報もある程度の範囲までしか入手できないという限界もあると思う。私も大変申し上げにくいところが、今日はまず機能についてご議論いただきたい。庁舎とまちづくりを合わせて議論することも重要な観点であるが、開催回数が少ないことからご了承いただければと思うがいかがか。

委員：この場でまちづくりを議論したいことは再三伝えてきたが、時間がないということも承知しているので、結構である。次の委員会でまちづくりに特化したテーマの議論の場を設けてもらいたいのも要望であるので、ここでは結構である。

会長：後ほどどういう風に活かされるかはわかりませんが、1つの重要なご意見としてお聞きしたいと思う。

## (2) 市役所庁舎の機能に何を求めるか

### [意見交換]

会長：傍聴者の方にはわかりづらいかもしれないが、事前にお配りしたシートにて、客観的に前回の委員皆様の意見を踏まえて、6つの機能と自由記述に分類した。(1)は市民が使いやすくするための機能、(2)は災害時に対応する機能について具体的にあったら書いてください、(3)は、感染症に対応する機能で、施設として感染症の対策というのは繰り返し出てくることかもしれないのでアイデアがあればお寄せいただきたい、(4)は市民間で交流する機能、(5)は今後の状況変化に対応する機能、

(6)は財政負担を軽減できる機能で、事前に委員の皆様にご記入をいただいたというかたち。(7)はその他で、自由記述があるということ。これから短い1人5分間の上限で忙しくて恐縮だが、手元のメモを基に、ご発言いただきたいのでご協力をお願いします。市役所は若手の方から今後関わっていくことになるだろうから若い方

※以下の委員のご発言中の番号は、それぞれ次に掲げる機能についてのご発言であるという意である。

- (1) 市民が使いやすくするための機能
- (2) 災害時に対応する機能
- (3) 感染症に対応する機能
- (4) 市民間で交流する機能
- (5) 今後の状況変化に対応する機能
- (6) 財政負担を軽減できる機能
- (7) その他

から順番にコメントのない項目は発言しなくてよく、自由に制約なくご発言いただきたいと思う。

委員：(1)はどこにどういう課があるかわかりやすくする。AIなども進んでいるので電子化を進める。子どもでも高齢者でも誰でも使いやすいユニバーサルデザインを採用した庁舎が必要。(2)は災害にどこがどれくらい被災しているのか、援助が必要なのか市役所で情報収集・集約し、病気を持つ人など支援が必要な人、普通に避難所で過ごせない人の情報を前もって収集し、有事の際に活用できる機能があるとよい。(3)は今回のコロナではデマ情報が多かったので正しい情報を市民にいち早く提供する機能を持つとよい。どういう風に予防するか、外出の際に注意すべきことの情報もしっかり伝える。(4)はラウンジなどフリースペースを持たせて学生やお年寄りでも使えるような場所にしてもらえたらと思う。小さい子どもが訪れる場所とするために子どもの発表の場があるといい。

委員：(1)はわかりやすい案内表示。適度な電子化がよい。なんでもかんでも電子化するというより、例えば案内表示はそこまで電子化はいらない。住民票を取りにいきたいときに、時間がなく、忙しい人向けに事前予約ができるシステムがあるとうれしい。広いトイレなどなるべく広々として人が通りやすい、車いすの方でも通りやすい通路があるといいと思う。(2)は(3)とも被るが、有事に対応する設備がちゃんと整っていると安心して避難しようと思う。設備を備えた上で、更に発信する。(3)は窓口にパーテーションを設置して区切るのもよい。空調設備で空気の入替えができる機能が備わっていると安心できる。(4)はフリーWi-Fiを配備する。イベント等で使える空間。例えば子ども向けのキャラクターショーを招くなどできれば、人が

来て活性化につながると思う。(5)は外国語対応した案内表示があると今後外国人が増えてきても対応できる。(6)はイベントなどするための空間活用のための収納に工夫があるとよい。

委員：(1)は駐車場の広さが必要。今後交通量が増えるに当たってもたくさんの方が市役所を利用できるように、高齢化が進む中で車の運転が難しくなる方が増えてくるなかで、1台1台の駐車場の確保がもう少しできるとよい。多様なスペースを確保するために高層ビル化するというよりも、1階～3階建てがベストと思う。広い開放的なスペースを確保するに当たっては、わかりやすいポイントを明記することも必要。(2)と(3)は少し被るが、ストレスのない空間を確保してもらえれば多くの方が避難できるようになるし、正しい情報を発信できるとよい。(4)は(5)にも被るが皆さんが言うように内外で開放的なスペースを確保することで市民同士での話し合いができる場所もできる。子ども向けもあるが高齢者の市民の方の触れ合いの場所がなかなか増えてこないなかで市役所が利用できればよい。(6)は他の委員からも意見が出ると思うので意見はこのくらいにしたい。

委員：(1)は病院や飲食店など様々な施設が市役所に入れば、年配の方も自分たちも市役所を訪れたときに色んな用事が足りる。タクシーやバスを使う人にとっても1回で済むと利便性が高くなる。(2)は蓄電池や太陽光は当たり前が付くと思うが、昨年度の災害時に安中市役所が緊急車両でいっぱいになってしまったので、駐車場を広く取って、災害時に一般車両が止められるスペースも確保してもらいたい。(3)はなにかあったときに換気できるように換気設備をしっかりと計画する。(4)は屋上なども上手く使って緑化するのもいいし、ビアガーデンなどにして、一般市民も夜も使えるようなスペースにする。広場としてライブやお祭り、子ども達の行事ができるようなスペースもできると色々と活用できると思う。(5)は人口増減に対応できるように庁舎の内部のつくりをフレキシブルにしておけば、もしも職員が足りない、増えたに対応できる部屋となるので、そのへんはいろいろ考えてもらえれば。

委員：(1)は何がどこにあるか明確になると来てすぐにどこに行けばいいかわかるようになる。(2)は駐車場の広さを確保できるとよい。(3)は事前にスマートフォンなどで住民票や印鑑証明の予約をして市役所に来たらすぐ受け取れて、すぐ出れるようにすることで市役所での滞在時間が少なくなり、よい。(4)は小さい子どもが遊べる施設があるとよい。

委員：(1)はトイレなど、自分が行く場所がわかりやすいようにレイアウトを工夫してほしい。(2)は災害があった時に災害に対応する機能が生き残る設計をしておいてほしい。(4)は安中市は市内のボランティア団体やNPO団体の活動を総合的に支援したり、団体同士の連携、横の連携を支援したりする機能がすごく今弱いと言われているので、それらを活性化する機能が持たせられるとよく、市行政との協働もアップしたらよいと思う。(5)は通信インフラを厚くしておき、建てる状況のギリギリ

でなく、今後のIT化の進歩などの状況に付いていけるように余裕を持たせておくべき。各業務のリモート化なども今後進んでいく可能性もあるので、本庁舎をハブにして各地区と有機的につなげるようにできたらよい。今人がやっていることも近い将来、AIが代替するようになっていくがITのリソースが脆弱だと対応できないと思うので、対応を考えてもらいたい。(6)はカフェスペースの貸出しや案内業務、庭や外構整備は民間団体、企業に任せる体制を考えたらよい。晴れた日は外光を取り入れて電力消費を抑える設計にする。一番はお金がないのだから外装は凝ったものでなくお金をかけなくてよく、極端な話、ただのハコでよく、中が使いやすければいい。(7)は今ここで話し合われているのは、今どうこうでなく、これから作るもの20年、30年先の未来の話なので、この懇談会や現場部署、若い職員の意見をきちんと反映してほしい。目新しいものはよくわからないから対応しないとか、前例がないからダメというのでなく、本当に有用な意見や案は、新しいものでも尖ったものでも、恐れずに攻めの姿勢で取り入れてほしい。安中が大好きだからこそ言うが、安中はほっといたらギリ貧だから、色々やってみたらいいと思う。

委員：(1)は、平日の日中仕事をしていて、土日休みだと、市役所がやっている時間と同じなので、市役所に行けない。仕事後の時間や休日、夜間などにも対応ができるような窓口サービスがあるといい。(2)は完全停電したときに電気がないとなにもできない事態も考えられるので発電機などの対応した設備をつくり、正確な情報発信ができるような機能があるとよい。(5)はワンフロア一化して部署の増減にもすぐにイスと机のレイアウト変更で、柔軟に対応できるのでよい。会議で市役所に来た時に、他の会議と被ったり、用がある人が集まったりすると車を停める場所が全くない状況もたまにあるので、駐車場が広いとよい。

#### 〈休憩約10分〉

委員：(1)は委員から出ている意見のとおりで、庁舎なので使いやすい、わかりやすいは当たり前のことなので割愛する。(2)は職業柄、災害時に色んなところに行くが一極集中すると災害時にその建物の機能が壊れたら終わりとなることが多いので、その点からすると分散化をしていかないと災害時に対応できない。ここが庁舎だとしたときの磯部の奥、遠いところが機能できない。(4)は交流の場は今後建築するに当たって、必ず必要である。単に庁舎だけ作るのではなく、お金を使うならちゃんとプラスアルファが必要である。喧々諤々色んな意見が出ながらこのプラスアルファを考えていければと思っていたが、この懇談会では話し合うのでなく、一人ずつそれぞれの意見を話すということなので、今後、プラスアルファについて話し合う場があってもいいのかな、という意見である。(5)は地球温暖化など色々言われているので、建物に対して環境に配慮、対応する市庁舎というのが今後必要なことである。(7)



は立地についてで、安中市の発展のことを考えると、現在地であるこのままの住宅地域だと難しいと思う。思い切って違う場所を見つけて、そこを発展の中心とする方が考えやすい。人口が減ることではなく、どんどん増やしていきたいという考えがよい。

委員：(1)は市役所が一か所になると高齢化がすすむなかで遠方の方が来るのが難しい。

I T化もあるが高齢者はI Tに弱いので公民館で公民館の人が手伝いながらテレビ電話、スマホを使って市役所の担当者とやりとりできれば、困らなくなる。(2)は太陽光パネルなどを設置して電力がストップしても市役所が機能するように。安中市は市内どこでも水害や土砂災害などなにかしらかの災害が起きるが、唯一ないのがこの高台くらいかと思う。防災設備としての機能が望まれる。庁舎が旧安中高校跡地に移転しても現在地であっても、空いた方の場所は防災拠点として活かす。どちらにしても駐車場は狭いと思うが、どちらかを予備にできれば広さも比較的確保できる。災害時はトイレに困ったりするので、後でパッとトイレにできるような排水設備もあるとよい。(3)はなるべく自然の空気の循環、風の流れを活かせるようにして、群馬は暑さも寒さも厳しいのでなるべく自然のもので対応できるように、また断熱材などは惜しまず使い、なるべく電力以外のもので、凌げるようにしてもらえらう。(4)は、緑地などを市民に貸し出せるようにしてにぎやかになればよい。近辺に道の駅もないので、ちょうど西毛広域幹線道路も通るので、道の駅的な機能、市内の産業や農産物などを市役所で紹介できるとよい。(5)は動かさないものを設置しないで、人口も普通にいけばかなり減少するので、人口減少や世の中の流れで必要なものも変わるので、部署が柔軟に変化できるように動かせるもので対応したらよい。これから外国人が増えてくるなかで、外国人はなにもわからない状況で来るので、パッと見てわかるようなものがよい。(6)は松井田支所や公民館など今までにあるものを利用する。

委員：(1)は少子高齢化、人口減少があり、30年後には人口が35,000人くらいになる計算が出ているが、I T化などこれから出てくるので公民館や生涯学習センターなどを充実させて近くの人たちが来て、住民票なり印鑑証明を取れるようなものにしてもらいたい。(2)は頑丈で安全な建物として、白井地区生涯学習センターのみ耐震が悪いとのことだが、やはりほとんどの機能を一極集中するのではなく、今インターネットでつながっているから、ある程度人員を配置して、できるのではないか。台風19号のときも自宅の近くの安心な頑丈な建物に避難したということがある。(3)はコロナの関係で考えても密にならないように、どこでも証明書の発行ができる場所を作ってもらいたい。(4)は中にカフェなど高齢者も含めて気軽に集える場所も一極集中でなく作れるとよい。(5)は他の行政の真似をするのではなく、安中市らしさ、安中的なものを作る。(6)は今ある施設を上手に使う、子どもたちに負の遺産を残さないように、借金ばかりすると30年後どうするのかという話になる。(7)は新しく作るのであれば、新しい住宅ができるどころ、駅ができるような場所に移転して、

周りの人口を増やすのもよい。

委員：(1)は最近、土日に市役所が開庁しているところもあるので、公民館でも証明書がとれるとよい。(2)はコンビニを作って、災害時にはあるものを活用するという方法をとってもよい。公民館が災害時の避難所となっているが直ぐに対応できてない。どこがどうなっているのか災害状況を市役所で把握して地区ごとの避難の方法を考えてほしい。庁舎の屋上にヘリポートを設置するなどの流行も取り入れてほしい。(3)は保健所が高崎に行ってしまったので、市として誘致して活用できるように。(4)は富岡市は庁舎の前広場で色んなイベントを行っているので、市民が集まれる場所を作ってもらえるとよい。(5)は(6)も含めて、今後の人口減少もあるので、今までの機能を活用した上で、新しい庁舎を作ってもらえればと思う。

委員：委員の皆様が安中市のことが好きで、色々考えられていてよいという感想を持っている。(1)はユニバーサルデザインやバリアフリーなどは基本的には設計する段階で出てくる話であるが、高齢化社会になり市役所に来れない人も増えてくると思うので、対応できる機能を入れた方がよい。(2)は発電機や太陽光パネルも設計のときに今の市庁舎は大体入ってくる。市役所を避難所として使うのか、あくまでも行政としての市民の安全を守るための機能だけにするのかは決めておいたほうがよい。避難者が市役所に集中してしまうと交通渋滞や交通事故が起きてしまったりもあるので、市役所は災害時に先頭に立って市民を守る機能にすべきと思う。そこをどう線引きするのか決めておく。市役所庁舎が動かなくなったら市がダメになってしまうのでバックアップ機能もどこかに置いておくのも一つにある。(3)は建築としてどうしていくかはなかなか難しいものであるが、ソーシャルディスタンスをとるというものだが、新たな感染症が出てきたり、コロナもいつ収まるかわからないので、換気量も少し多めに換気設備を付けるとか、商スペースも作っていいが、プライバシー確保のための相談室などもあるが、間仕切壁など、可動壁として、密閉となる部屋は減らした方がいい。(4)はどのくらい年間使うのか今後試算を行政側でする話となると思うが、コンビニ、スタバなどをどれほど人が利用するか、検討してほしい。(5)は市の中にいっぱいある行政施設を今後統合すると話になってくるので将来性を見て、具体例には出てこないが、対応できるようなスペースも確保しておいた方がよい。(6)は有名建築家による奇抜なデザインにはしない方がいい。隣の市にもあるが、見た目がカッコいい市役所を作っても最初は人が見に来るけどそのうち来なくなるので、観光施設としては意味がない。建てるときの建設コストダウンや維持管理費も考える。天井高を高くしたときに電球を取り換えるのも業者に依頼することになり、その度に金がかかるなどはやめた方がよく、市役所の職員で維持管理ができるようにすると、全体的に財政負担が軽減できると思う。

委員：開催通知をもらったが、前回の段階で機能の話は済んでいるのに、前回は1分で今回は5分で言い足りないこともあったかと思うが、第1回会議の資料3の検討フロ

一のとおり、第1回、第2回の会議と進んでいたのに、どうしても一度同じ議題を話すのかと思った。予定では今回の第3回は老朽庁舎をどうするかということが議題になっていて楽しみにしていた。傍聴の方もそれが一番のメインテーマだと思って聴きにきているはず。どのような機能が必要かは設計の段階などで大体のことはわかっている。老朽庁舎を補修する、現在地に建て替える、旧安中高校跡地に移転するなど、結論ではないが、市長に提言書を出すまでにこの懇談会でそこまでやるべきである。上毛新聞でも改築方法など真意を諮るといっているわけで、旧安中高校を購入するときも市民懇談会で諮って、としているのに、老朽庁舎をどうするか議論をパス、スルーしてしまうのはどうかなと思った。(1)は庁舎を一極集中するのは止めた方がよい。松井田支所は存続すること。高崎市も市町村合併をあれだけして、支所が置いてある。安中市と近い、藤岡市も1市1町で合併し、鬼石支所を最近新しく作ったくらいである。(2)は災害時には災害対策本部になるような機能、備蓄倉庫もあった方がよい。(3)は廊下や窓口、相談スペースを十分に、ゆったりと持つ。(4)は芝生で多目的広場でイベントもできるし仮設テントも建てられるので、役所のそばに設置するとよい。(5)は利用する部分が事業が入ったりにより増減することに対応できるといいと思う。(6)は3階建て以下で、シンプルな機能で100年持つ建築がいい。失礼があったが勘弁いただきたい。

委員：若い方からこれから使われる庁舎について(1)～(5)まで意見を発表いただいたので、それを提言書に盛り込んでいただきたい。私はあえて財政負担を軽減できる機能に特化して、後世の負の遺産にならないように提案したい。(6)は1つ目はライフサイクルコストの低減を図ること。具体的には電球の交換や太陽光発電など自然エネルギーを十分に活用したもの、AI活用など数限りなくある。2つ目はメンテナンス機能の経費の節減を図ること。庁舎には清掃をはじめとして色んなメンテナンスが必要になるが、特に植栽は非常に金がかかるので十分に配慮してほしい。3つ目は資金調達について、クラウドファンディングなども希望する人がいないので無理。PFIも検証する期間がかなりかかるということなので厳しい。市民債の発行も安中市の財政状況を考えると公債費もだいぶ上がっているのも無理があるかも。そういった資金調達の状況を考え、合併特例債を使ったらいいという議論が再三あがっている。対象事業の95%に起債でき、70%が普通交付税で戻ってくるという確かに非常にいい起債だが残りの30%が借金なのには変わりがない。今後のまちづくりや跡地利用などで合併特例債がなく何もできなくなるとは困るので、十分に配慮してもらいたい。カフェやコンビニなど意見が出ているが一步踏み込んでほしい。土地や建物利用の借地、賃貸料などの収入源の確保として、財政負担の軽減として考えてほしい。行政のスリム化についてもボランティアやNPO、独立行政法人なども出てきているなかで、市民の力を活用して、経費節減などしていくのもよい。他にも具体的にはたくさんあるが時間の関係で割愛する。角度を変えて提案させてもらった。

委員：（１）は松井田庁舎を十分に活用し、本庁と同じくらいの機能を持たせる。IT化が進めば可能と思うし、高齢化が進み、高齢者にしてみれば安中と松井田では随分距離が違うので。各課の場所を、特に市民の方が一番多く訪れる市民課、福祉課などを庁舎に入ったらすぐわかるような場所にしたらよい。（２）は私は社会福祉協議会に所属しているがボランティアセンターを作るにしても現在地は狭くて駐車場もない。もしも旧安中高校跡地に庁舎が移転するのであれば、空くであろう現在の新庁舎部分に社会福祉協議会やシルバー人材センター、商工会議所などを移してひとまとめに入れば、色々やりやすい。ボランティアセンターの立ち上げも駐車場が広いので充分できると思う。（３）は今安中の場合は保健所や市健康づくり課が対応していると思うが、コロナも長引き、これから違った感染症も出てくるかもしれないので、碓氷病院を含めて感染症の専門の部署を作って電話対応などできるとよい。（４）は市庁舎をコンパクトにする意味でも交流スペースは不要である。４月後半にオープンする予定のスマイルパークが、多世代交流、子育て交流の場として検討しているので、交流の場はぜひスマイルパークを使ってほしい。利用者がいなくても困るので。（５）は電子化して松井田支所と本庁で同じ機能を持つくらい対応できると思う。（６）は合併特例債を使う。プレハブの仮設庁舎を作って２年間借りると、２億円くらいかかるということなので余分なお金を使わないためにも安中高校跡地がよいと思う。（７）は使いやすい機能は使う職員が一番わかっていると思うので職員同士で大いに検討して、職員が一番使いやすい庁舎にすればいいと思う。

副会長：（１）は遠くから通うのにデマンドバスを整備してほしい。ワンストップで色々な課を回らずに一か所で、総合窓口などで市民が目的を果たせるような機能ができると丁度よい。（２）は災害時の拠点となるのでしっかりと耐震構造、水害に対応できる施設にする。昨年の台風19号では公民館や文化センターだけでは避難所が足りない経験をしたので、避難所としての機能も備えた方がよい。仮設施設を作れるように前もってスペースを市役所の敷地に限らず準備する。食料等も確保できる倉庫も必要。（３）は地域の体育館で感染症と避難所の環境の訓練をしたが、狭いところに作らざるを得ないので間仕切りなどで個室がつかれるような設計にするとよい。野外テントや防護用品も準備しておく必要がある。（４）は14か所公民館があるが、市民が集い、サークル活動などの文化的な活動を発表する場が必要である。何回使うのかという意見もあったが、人間のモチベーションを高めるに必要。富岡市には美術館が2つあり維持が大変とも聞くが、安中市には1つもないという欠点もあるのでそういうスペースが必要。子育て支援センター、保育園でも若いお母さんの子育ての相談の場になっており、それを通して若い人が集まっているので、市役所も若い人が集まる拠点になるとよい。（５）は人口減少を抑えるために、現状維持では魅力がなくなってしまうので、市役所ができることによって魅力が出て、若い人が集まるまちになるといい。庁舎にカフェを併設することで職員が分散しているが600人を超え

ているので、お昼などで利用するなどして食堂を維持する。安中にはほとんど食堂がないので人が集まらない。食堂があることで、若い人が集まっていざやかになる。(6)は既存の耐震性能のある建物を使えばいいが、市の職員やみんなのモチベーションが下がると行政の機能も停滞してしまう傾向にあるので、合併特例債など色んなものを利用して早めに作ったほうがいいと思う。市議会の議場も見てみたところ、暗く、わからないようなところで会議が開かれているので、できるだけ多くの人にみてもらって、若い人が安中市の議会の内容を理解してもらうことで市民の意見が高揚し、地域と市役所の交流が高められ、若い人が市役所に集まれるので、わかる場所に議場をつくってほしい。

会長：(1)は庁舎に求めるものとしてICT化は当然であるが、セキュリティを高めることとニーズがあるかのバランスを考えなくてはいけない。なんでもというのでなく、コンビニ交付もニーズをしっかりと確認しなくてはならない。NPOを育てたり横方向につなげたり、情報共有したりする親玉のようなものである中間支援組織が安中市にはなく、前橋市では中央公民館に拠点があるので、スマイルパークや庁舎に必要と思う。市民と職員が話し合いをする場がないので、カウンターの外に必要。(2)は市民のなかには庁舎のなかに一時的に避難する方も来るかと想像するので、2〜3日くらいは対応できる機能がないとまずいかなと思う。仮設住宅のスペースも必要。空き家を活用する考えもあるようだが、権利関係も難しいので、災害時にパッと作れて、パッとなくせるということも考えるべきで、広い広場が必要と思う。(3)は庁舎において感染症をどうするか考えると、ある程度広い場所、空間がどうしても必要になってしまう、そこは譲らない方がよいだろう。パーティションを置きながら仕事するのも限界があると思う。(4)は周囲の騒音や迷惑などが出ない範囲で、スマイルパークでもよいが、庁舎にも交流の場があってもよい。(5)は県庁や前橋市役所を見るとワンフロア方式は譲れない。安中市役所は個室形式になっているが見通しが悪い。部署や機能の変更に対応できない。机の島を動かすだけで機能を広げたり縮めたりできるのがよいのでワンフロア方式にならざるを得ない。(6)はランニングコストを下げることは譲れない。電気や水道などは最低限対応しなくてはいけない。東京工業大学の校舎のような建物の側面全てに太陽電池を付けるのもありなのかもそこまでやる必要があるのかもわかりませんし、旧東京都庁跡の国際センターのようなガラス張りでは暖房効率が悪く、ランニングコストが高かったと聞いているので、そのあたりはきちんと押さえないといけないと思う。できれば庁舎で稼いでほしく、コンビニ、カフェも入ってほしいが、それを計画しても途中でとん挫して最終的に使わないスペースになってしまってもったいないので、きちんとマーケティングして勝算がある場合にやるということを考えるべき。ただ、24時間のコンビニなどであれば電気が煌々と光っているので、保安対策などのメリットもあるので、総合的に勘案して考えるべき。(7)は在宅勤務が市役所の職員も部署によって

は可能なのかもしれないが、リモートにするとスペースも減らせると思うが、ルール上の壁があるかもしれない。私の勤務先でもリモートが難しいという限界も聞いているので、どこかに限界があるのかもしれない。

[質疑応答等]

会長：ご指摘のとおり当初の計画と違うのも事実であるが、ただ前回の1分間ではなかなか難しかったことと、分野ごとに分けるということも難しかったので今回は整理のためにあえてこういう形で計画を変更させていただいたところです。一通り意見聴取をしたが、他にご発言やご希望などあれば伺いたいが、いかがか。  
(事務局を含め特に発言なし)

4 その他

次回の会議日程について

(日時：令和2(2020)年9月29日(火)午後6時30分から2時間程度)

(場所：安中市役所本庁舎3階 会場調整中)

5 閉会 (午後8時30分閉会)

事務局：これをもって第3回安中市庁舎に関わる市民懇談会の会議を閉会とします。長時間にわたり、誠にありがとうございました。